

川で遊ぶ



<事業報告>

- | | |
|----------------|--------------------|
| ①令和5年度総会 | ②夏井川流域の会総会 |
| ③ふくしま海ごみシンポジウム | ④小川地区懇談会 |
| ⑤地方流域水循環協議会研修会 | ⑥夏井川・鮫川・藤原川流域治水協議会 |
| ⑦定例清掃 | ⑧新川春の植栽 |

<行事案内>

- | | |
|----------------|------------|
| ①流域一斉水質調査 | ②夏井川かわくんだり |
| ③福島県水環境活動団体交流会 | |

<報告>

資材倉庫設置について

少し暑さを感じる頃となり、まもなく入梅の季節となりましたが、如何お過ごしでしょうか。日頃より当会活動へのご理解を賜り有難うございます。5月初旬に新型コロナ禍に係わる規制が大幅に緩和されたことを受けて、当会の活動も元に戻して進めたいと考えております。

さて、会報第59号は前号発行今年1月1日から現在までの多くの事業報告とともに、今後の活動予定についてのお知らせも掲載しています。ホームページにも随時記事を投稿していますので、是非ご覧ください。ご家族、友人、知人等広くお声掛けいただき、多くの方の参加をお願いします。

<事業報告>①令和5年度総会

橋本孝一

今年で24回目となる総会が、5月21日(日)9:30～、夏井川河川防災ステーションにて開催されました。総会には、当会会員15名および来賓としていわき建設事務所及びいわき市(河川課)からも参加していただきました。

◆総会では、世話人代表からの挨拶の後、議長に桶田隆司さんを選任し、田中事務局長からの「令

和4年度事業報告・決算報告」、会計監査の結果について江尻勝紀さんから報告があり、満場一致で承認されました。引き続き、事務局より今年度の事業計画案・予算案が提案されました。今年度予定されている「地区懇談会」は、平窪地区での懇談が想定されており、平窪地区から参加して頂いている会員から、貴重な提案を戴きました。

◆総会終了後、富田明雄さん（平地学同好会会長）から、「夏井川のおいたち」と題して、ご講演をいただきました。その後、防災ST敷地内に新たに設置された器材倉庫の視察、新田川・夏井川本川の改修工事現場等を視察し、解散しました。

※総会議案書も同封していますので、ご覧ください。

- ・年会費の納付もお願いいたします。振込には手数料がかかりますので、世話人へ現金手渡しでも差し支えありません。
- ・令和6年度から個人会員年会費を2,000円（1,000円アップ）に変更いたします。ご理解のほど宜しくお願い致します。（議案書7ページに記載）



橋本代表世話人挨拶



福島県いわき建設事務所小川主幹様挨拶



いわき市河川課猪狩主幹様挨拶



総会の様子(1)



総会の様子(2)



基調講演 富田講師



基調講演の様子



資材倉庫の視察



新田川・夏井川合流点の視察

<事業報告> ②令和5年度夏井川流域の会総会

田中博文

令和5年5月13日(土)小野町こまち交流館にて令和5年度流域の会総会が開催されました。今回で第17回となります。夏井川流域の会は、夏井川に係わる個々の団体が市町村の行政界を越えた夏井川流域として連携して活動していこうとする会で、平成18年に発足しました。河川長67kmにもなる夏井川の流域には上流・中流・下流域で活動している様々な団体があり、一斉水質調査やウォーキング等の流域活動としての事業を実施しています。

総会では、事務局から令和4年度事業報告・決算・監査、令和5年度事業計画・予算の報告があり、審議のうえ了承されました。また、今回の総会では役員改選があり、新代表が上流の高橋氏、前代表の橋本氏は名誉顧問に就任しました。

夏井川流域の会 令和5年度役員改選(案)

旧役員(令和3年総会～令和5年総会)			新役員(令和5年総会～令和7年総会)			
担当	氏名	所属		担当	氏名	所属
代表	橋本 孝一	(下流域) 夏井川流域住民による川づくり連絡会 代表世話人	新任	代表	高橋 宗彦	(上流域) 夏井川上流域連絡協議会 会長
副代表	高橋 宗彦	(上流域) 夏井川上流域連絡協議会 会長	新任	副代表	桶田 隆司	(下流域) 夏井川流域住民による川づくり連絡会
副代表	中山 政幸	(中流域) 夏井川をきれいにしま専科 会長	留任	副代表	中山 政幸	(中流域) 夏井川をきれいにしま専科 会長
事務局	田中 博文	(下流域) 夏井川流域住民による川づくり連絡会 事務局	留任	事務局	田中 博文	(下流域) 夏井川流域住民による川づくり連絡会 事務局
会計	井上久美子	(下流域) 夏井川流域住民による川づくり連絡会 会計	留任	会計	井上久美子	(下流域) 夏井川流域住民による川づくり連絡会 会計
監査	村上 高一	(上流域) 夏井川上流域連絡協議会 会計	留任	監査	村上 高一	(上流域) 夏井川上流域連絡協議会 会計
監査	先崎 徳孝	(上流域) 夏井川上流域連絡協議会 事業担当	留任	監査	先崎 徳孝	(上流域) 夏井川上流域連絡協議会 事業担当
			新任	名誉顧問	橋本 孝一	(下流域) 夏井川流域住民による川づくり連絡会 代表世話人

総会后、東松院佐々木住職様による基調講演として紙芝居が行われ、楽しい話し2話を住職ご夫妻で講演していただきました。その後、同会場の庭でバーベキュー懇親会となりました。遠方から駆けつけて下さった方もおり、戻り時間間際まで久しぶりの懇談を楽しみました。



橋本代表挨拶



総会の様子



高橋新代表挨拶



基調講演 佐々木住職ご夫妻による紙芝居



基調講演の様子



差入れの心の水



懇親会の様子(1)



懇親会の様子(2)



懇親会の様子(3)

<事業報告> ③ふくしま海ごみシンポジウム

田中博文

アクアマリンふくしま主催による「ふくしま海ごみネットワークシンポジウム」が1月14日(土)1日目はシンポジウム、翌日の15日(日)2日目は海岸清掃として開催されました。

◆シンポジウムはイオン小名浜店にて13:30~16:00に開催され、会場に約80名集まり、13団体の活動発表、行政の立場からとしていわき市・福島県、県外の活動事例として神奈川県・西表島の発表がありました。当会から4名参加し、各団体での発表では、橋本代表が当会の紹介・清掃活動の実績・課題を報告しました。清掃活動団体には色々な団体があり、若い方が多く参加していることに驚きました。今後も意見交換する場として継続していく予定との事です。



橋本代表世話人の発表

◆翌日の午前中は、各団体が担当海岸を一斉に清掃し、当会はいわき鳴き砂を守る会と共同で豊間海岸のごみ拾いを行ないました(当会9名、鳴き砂6名)。ゴミ袋10袋(ペットボトル1.4kg、プラ・燃えるゴミ34.1kg、カン・ビン・燃えないゴミ5.0kg、プラ粗大ゴミ5個)と結構多く、大部分はプラ系の漂着ゴミでした。



ごみ拾い状況



参加した皆さん



TV取材(鳴き砂)



集めたごみ

<事業報告>④小川地区懇談会

田中博文

2月19日（日）14：00～16：00高萩公民館にて、小川地区懇談会を開催しました。当会発足して何をすべきか、住民の意見を聞こうと平成14年に開催してから、21年振りの開催です。参加者は当会7名、小川地区住民10名でした。

橋本代表世話人による挨拶と当会紹介、流域についての説明のあと、夏井川に親しむ事業、河川改修（治水・環境）に関する事、その他の3つの話題について、昔、今、将来について様々な話があり、昔と比べて安全に対して過敏すぎないか、保護者が若く経験も理解もない、小川地区の治水対策は十分か、住民活動もコロナで少なくなったなど、多くの意見がありました。

小川地区を皮切りとして、他地区でも進めていきたいと考えています。当会の活動を広くPRし、多くの方々に参加して頂き、より良い環境づくり・地域づくりに貢献したいと思いました。



橋本代表世話人による当会の説明



懇談会の様子(1)



懇親会の様子(2)

<事業報告>⑤地方流域水循環協議会環研修会

阿部孝男

令和5年2月8日（水）、三春町の福島県環境創造センターで行われた、「令和4年度 地方流域水循環協議会研修会」に参加しました。

会場での参加は20名程度の他、オンラインでの開催となり、環境創造センターの活動状況紹介の後、名古屋大学教授で内閣府水循環アドバイザーでもある中村晋一郎先生の『流域での市民参加—その課題と可能性—』と題して基調講演が行われ、東京都杉並区を流れる善福寺川や木曾三川での活動状況を紹介しながら流域活動を通しての「場づくり」や「仕組みづくり」「情報づくり」の活動事例を発表し、持続的な活動のためには定期的な活動内容の修正や改善が重要であることなど、また、流域連携がいかに重要であるかなど、まさに私たちの活動にも当てはまる講演内容でした。

その後、以下の3事例の発表がありました。

- ・阿武隈川サミット実行委員会
- ・NPO 法人会津阿賀川流域ネットワーク
- ・夏井川流域の会（当会橋本代表発表）

それぞれの活動内容にも私たちと違った視点や活動範囲など興味深いものがありましたが、中村先生の講評では、流域全体を見据えての活動内容や住民目線で行政にアプローチしている点などを評価して頂き、今後の活動に非常に励みになりました。



中村先生の基調講演



橋本代表世話人の発表

<事業報告> ⑥令和4年度夏井川・鮫川・藤原川流域治水協議会 橋本孝一

令和5年3月8日（水）10時～、いわき市文化センターで協議会が持たれました。出席者は、WEB参加者を含め、いわき市（内田市長、他8部長）・田村市長・鮫川村長、古殿町長、小野町長、福島県（いわき建設事務所吉田伸明所長、他8所長、危機管理部・農林水産部・土木部）、国（農水省、国土交通省、気象庁）からの出席者の他、民間団体の代表も出席しました。

◆民間からは、当会を含め8団体（夏井川水系河川改良促進期成同盟会、いわき商工会議所、鮫川水系河川改修促進協議会、勿来ひと・まち未来会議、県宅地建物取引業協議会、藤原川水系河川改良促進期成同盟会、当会）が参加しました。当会からは橋本が代表して参加し、意見を述べる機会を戴きました。

◆会議では、「流域治水プロジェクトの3水系での進捗状況について」として事務局から説明があり、その後、「住民参加」を議題に、意見交換がなされました。各民間組織及び流域市町村からの参加者から、発言がありました。

私からは、夏井川流域NWを代表し、「河川の維持管理・活用」に住民参加が不可欠との観点から、①堤防法面に階段・斜路等を適切に設置して欲しいということ。②地区単位等で、河川敷の利活用等に関して利用協定を結び、積極的に住民の利活用を計れるよう検討して欲しい。また、草刈等については、地域の担い手が高齢化している点を踏まえ、ボランティアの活用体制も検討すべきではないか等の点について、行政の対応を求めました。これらの論点について、行政側からの見解として、①斜路が現在1箇所設置済みだが、今後、更に維持管理上の必要性等を踏まえ、適切に設置していきたい。②河川敷の利活用については、今後、地域住民との意見交換を行っていきたい等の回答がありました。

※なお、会議の議事録は、インターネットで、「令和4年度 夏井川・鮫川・藤原川 流域治水協議会」と入力すると、議事録が掲載されています。

◆会議に参加して、私達流域住民も、今後とも積極的にさまざまな機会を利用して発言していくことが、大切なのではないかと痛感しました。

<事業報告> ⑦定例清掃

桶田隆司

当会では、毎月第一土曜の朝7時30分から清掃（草刈、ごみ拾い、泥上げ等）活動を行っています。清掃場所は、小学生の親水活動の場所を中心に、①夏井川河口サイクリング公園脇の親水広場、②夏井川防災ステーション脇、そして③新川のひょうたん島の親水空間を行っています。

12月以降の実施状況です。（1～2月は厳冬につき休止）

月日	清掃場所	内容	参加者数	備考
3月4日	新川ひょうたん島	土砂撤去	8名	12月以来再開
4月1日	新川ひょうたん島	土砂撤去	9名	桜満開
5月6日	防災ステーション	草刈	6名	R5総会会場として使用

★3月のひょうたん島



階段の土砂撤去と同時に、階段とひょうたん島の上に河川水が流れ込むように、スコップで水路をつくりました。

★4月のひょうたん島



水面に近い1段目の土砂をなくすことが出来、階段工がすべて見える（使える）ようになりました。機械で実施すれば大した作業でもありませんが、人力（平均年齢の高い方々）で実施しているのがかなりの重労働でありました。

うれしいこともあります。今年は桜の開花が早く、満開の桜に癒されながらの作業でした。



朝の作業を終え、午後にひょうたん島でうれしい風景を見ることが出来ました。

花見の方々が、ひょうたん島で遊び、飛び石を渡って散策していました。新設された階段護岸でも子供たちがはしゃいでいました。上流にある、天然石を利用した飛び石でも遊んでいる人がいます。この完成した飛び石とリニューアルしたひょうたん島が市民の憩いの空間として認知・利活用され、【笑顔があふれる夏井川（新川）】の当会キャッチフレーズが実現できればこの上ない喜びであります。その日を夢見て清掃に励んでいます。

階段護岸、飛び石は、県と何回も意見交換を重ね工事を実施していただきました。改めて担当した方々に感謝したいですね。

『あー、いつも遊べるよう、きれいに保つには・・・・』と妄想しています。



★5月の夏井川防災ステーション

定例総会を5月21日に防災ステーションで実施することから、ゴールデンウィーク中でありましたが、草刈とゴミ拾いを行い、新田川から夏井川の高水敷まで通れるようにしました。



毎月の定例清掃は、夏井川河口公園、新川ひょうたん島、防災ステーション付近を実施していますが、数人の力では限りがあります。多くの方が参加するような仕組みが必要です。夏井川の防災工事が着々と進んでいます。同じような課題があると思います。行政と住民が知恵を出し合い、より良い河川空間となるよう期待しながら定例清掃は続きます。多くの方の参加をお願いします。

<事業報告> ⑧新川春の植栽

田中博文

令和5年5月14日(日)新川アリオス裏の堤防で「ふるさといわきの新川をきれいにする会」主催の春の植栽に参加しました。この植栽は30年ほど続く継続事業でしたが、新型コロナ禍の影響で3年振りの開催となりました。(昨年秋にも実施しましたが、会員主体でした。)

午前9時から新川左岸堤防花壇の手入れ・植栽、草刈りを行ない、11時頃にはきれいになりました。当会は夏井川流域の会として共催し、11時から川の学習として新川上・中・下流の水の透視度と臭い当てゲーム、笹船流しを体験してもらいました。大人でも笹船の作り方を知らない方が多いのには驚きで、速さを競って1組目・2組目・決勝を行ない、とても好評でした。

植栽には60名が参加し、最後にお楽しみ抽選会があり、周辺会社からの協賛品を各自持ち帰りました。震災を通じて交流があった広島県から4名の方々が応援に来訪され、一緒に植栽を楽しみ、夕方から懇親会で親睦を深めました。



開会式



階段わきの花壇に植栽



透視度の体験



CODパケットテストの説明



笹船競争



橋本代表世話人による水当て結果発表と講評

<行事案内> ①夏井川流域一斉水質調査

小川公民館にて夏井川流域一斉水質調査を行ないます（17回目）。4年ぶりに27地点全ての調査となります。10時に各地点同時採水となりますので、多くの方の参加をお願いします。午前中は27箇所の水質調査、午後からは近くの水辺で水生生物調査を行ないます。

○日 時 6月11日（日）集合8：30（採水する方）
10：00（採水しない方） 終了14：30頃

○場 所 いわき市小川公民館

○各自準備 昼食、飲み物、水生生物調査を行なう方は長靴、着替え

○参加費 無料（事前申込み不要）

○小雨決行ですが、荒天は中止（翌週）となります。

令和5年度

夏井川流域一斉水質調査

参加者募集！

みんなで川の水質を調べよう！

実施日

令和5年6月11日（日）午前10時 一斉に水を採取します！

※この日は「全国一斉水質調査」に合わせて行います。

※雨天の場合は6月18日（日）に順延となります。

● 集合時間・場所 ～ 午前9時、いわき市小川公民館

※事前申し込みは不要です。当日直接会場へお越しください。

※現地での採水にも協力して頂ける方は午前8時30分まで集合してください。

※終了は午後2時30分ぐらいを予定しています。

● 測定地点 ～ 平・小川を中心とする16地点（流域全体27地点）

● 実施すること

■水質調査(COD,アンモニアパックテスト・導電率・透視度・におい など)

■水生生物調査(川に入って川の生き物を採取・観察します)

■昨年に続き川砂の放射性物質濃度も測定します。



● 参加費：無料

● 準備するもの

★ 水にぬれても大丈夫な服装・着替えなど ★ 昼食・飲み物等

問い合わせ先・連絡先

● 阿部 孝男 TEL: 090-8251-6658 E-mail: abe_i0831@outlook.jp

● 田中 博文 TEL: 090-2797-7856 E-mail: tanaka@tisisu.co.jp

○ 主催:夏井川流域の会

○ 共催:「夏井川流域住民による川づくり連絡会(下流域)」
「夏井川をきれいにしてみま専科(川前)」
「夏井川上流域連絡協議会(小野町・田村市)」

○ 後援:いわき市

<行事案内>②夏井川かわくだり

例年恒例事業として第9回夏井川かわくだりを実施します。以前から実施している平鎌田地区は河川工事中であることから、昨年は河口右岸で試験的に実施し、安全、且つ十分に楽しめたことから、今年も河口で実施します。

- 日 時 8月27日(日) 開始10:00 終了14:30頃
- 場 所 夏井川河口右岸親水公園(パターゴルフ場奥)
- 各自準備 昼食、飲み物、着替え(着替え用テント有り)
- 参加費 昼食なし:無料 昼食あり(バーベキュー):2000円
- 申込み 事前申込み必要
- 小雨決行ですが、荒天は中止となります。

【概ね上記のとおりですが、詳細チラシができればホームページで案内します】



昨年の様子

<行事案内>③福島県水環境活動団体交流会

昨年6月にいわき会場として実施しましたが、今年第18回として石川町会場で実施します。10月開催の予定で、1日目(午後)は基調講演、事例発表、懇親会、2日目(午前中)は現地視察となります。

【詳細チラシができればホームページで案内します】

<事務局より>

■資材倉庫設置について

これまで当会の活動資材を数人に分散保管しており、兼ねてから資材倉庫の設置を模索していましたが、令和5年3月にいわき市河川課様の正式了承（行政財産使用許可）が得られ、令和5年4月8日（土）に夏井川河川防災ステーション敷地内へ資材倉庫を設置しました。

当会資金では倉庫購入費が不足していたため、パルシステム生活協同組合連合会様の2022年度地域づくり基金で40万円を助成していただき、さらに不足分として代表世話人・副代表世話人の6名から一時借用（×5万円＝30万円）して充当しました。各世話人へは、年会費納入後の7月頃に毎年1万円ずつ返済していく予定です。

活動資材を1箇所に集積できたことにより、今年から当地を拠点として水辺教室、防災教室を実施したいと考えています。



資材倉庫全景



資材倉庫内部（今後資材造予定）

■世話人会に参加してみませんか

当会は毎月第1火曜日に「世話人会（18：30～）」を開催し、事業の反省や今後の在り方など、いろいろな話し合いを行っています。会議時間は1時間程度で、誰でも参加できますので、是非ご参加ください。

会場は主にいわき市文化センター（いわき市平堂根町1-4）ですが、開催日も含めて変更となる場合がありますので、世話人または事務局へご確認下さい。

～～～ 会員の皆様からのご意見・御寄稿をお待ちしております ～～～
(行事予定は下記ホームページでも案内しています)

【会報 第59号】 2023.5.31

発行：夏井川流域住民による川づくり連絡会（略称：夏井川流域NW）

代表世話人：橋本孝一

事務局：〒972-8311 いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171地質内
田中博文 Tel)0246-88-8810 Fax)0246-88-8907

ホームページ：<http://blog.natsuigawa-karyu.net/> 夏井川流域で検索